

第5章 計画の推進

本計画の推進にあたり、家庭・地域、学校・園、図書館に到達目標を定め、本計画期間内に達成できるように努めるとともに、数量的な評価による客観的な検証を行います。

また、子どもの読書に関わる、家庭・地域、学校・園、図書館などの子ども読書活動取組状況を取りまとめ、前記の数量的な評価とあわせて総合的に検証し、かつ、フィードバックすることによって計画の実効性を確認しながら推進します。

1 家庭・地域における読書活動の推進

① 「親子読書活動10分間運動」の取組状況

小学校区 2017年度 86% → 2022年度 100%

<取組小学校数/市立小学校数>

中学校区 2017年度 64% → 2022年度 80%

<取組中学校数/市立中学校数>

② 公民館図書室における児童図書年間貸出冊数

9,461冊 → 10,000冊

(2013~2017年の年平均)

(今後5年間の年平均)

2 学校・園における読書活動の推進

① 年度末蔵書数調査（市が毎年実施、全校対象）

・児童生徒一人あたりの年間貸出冊数

小学校 2017年度 104.5冊 → 2022年度 120冊

中学校 2017年度 23.3冊 → 2022年度 30冊

・各学校の学校図書館用図書整備状況

② 研修会提出資料（学校図書館教育担当者、学校図書館運営支援員対象）

・読書週間、読書月間等の実施状況

・学校図書館行事実施状況

全校一斉「読書活動」等

小学校 週2日以上の割合

2017年度 100% → 2022年度 100%維持

中学校 週3日以上の割合

2017年度 100% → 2022年度 100%維持

- ③ 学校図書館運営支援員配置アンケート（市が毎年実施、全校長対象）
 - ・学校図書館環境整備状況
- ④ 学校図書館の現状に関する調査（文部科学省が隔年実施、全校対象）
 - ・読書活動実施状況
- ⑤ 「読書の現状に関する調査」（長崎県が毎年実施、抽出校対象）
 - ・読書月間の読書率（不読者率）
- ⑥ 教職員研修等実施状況
- ⑦ 学校図書ボランティア活動状況

3 図書館における読書活動の推進

- ① 子どもの本一人当たりの貸出冊数

2017年度 22冊 → 2022年度 25冊

<市立図書館年間児童書貸出冊数/住民基本台帳年度末年少（0歳～14歳）人口>

- ② 講座・講演会の事業実施状況
- ③ 図書館員等研修状況